## 第2学年 国語科学習指導案

指導者 高井 菜月 場 所 2階2年教室

 単元名 音読げきをしよう 教材名「お手紙」

#### 4 指導計画と評価計画(総時数12時間)

| 4 指導計画と評価計画(総時数12時間) |    |   |  |   |   |     |    |   |  |  |
|----------------------|----|---|--|---|---|-----|----|---|--|--|
| 時                    | 次  | 目標  | 主な学習活動   | 評価規準(評価方法)  |   | 評価書 |    | 言 |  |  |
| 1                    | _  | 楽しい音読劇にする<br>ための学習計画を立<br>てようとしている。                                       | ・役に分かれて読むなど、音読を楽しくするアイデアについて話し合い、音読劇の楽しさに気づく。  | ・物語の特徴を生かして,音読劇に表<br>そうとしている。<br>(発言・行動観察)                                    | 0 | Ħ   | pu | П |  |  |
| 2                    |    | お話の大体の内容をつかむことができる。   | ・「お手紙」の読み聞かせを聞いて「1年生にお話をしょうかいするための, 音読げきはっぴょう会をしよう」という学習課題を設定し, 学習の進め方を確認する。<br>・お話を読んでとらえた内容を短い文でまとめる。                        | ・お話の大体の内容をつかんでいる。<br>(発言・ノート)   |   |     | 0  |   |  |  |
| 3                    | 11 | だれの会話文である<br>かを理解し、二人の行動を読み取ることが<br>できる。                                  | <ul><li>「お手紙」を読み、おおまかな内容をつかむ。</li><li>場所の移り変わりに着目して場面分けをする。</li><li>二人の行動と会話を整理する。</li></ul>                                   | ・だれの会話文であるかが分かり、二人の行動を読み取っている。<br>(発言・行動観察)<br>・主語と述語の関係を理解している。<br>(発言・書き込み) |   |     | 0  | 0 |  |  |
| 4                    |    | 悲しい気持ちでお手<br>紙をまっている二人<br>の様子や気持ちを,想<br>像を広げて読むこと<br>ができる。                | <ul><li>・叙述に着目して、二人の気持ちを想像し、<br/>心情曲線に表す。</li><li>・読みとったことを音読で表現する。</li></ul>  | ・二人の様子や気持ちを, 想像を広げて読んでいる。<br>(発言・ノート)   |   |     | 0  |   |  |  |
| 5                    |    | がまくんのために手<br>紙を書き,かたつむり<br>くんに頼むかえるく<br>んの様子や気持ちを,<br>想像を広げて読むこ<br>とができる。 | ・叙述に着目して、二人の気持ちを想像し、<br>心情曲線に表す。<br>・読みとったことを音読で表現する。  | ・がまくんのために手紙を書き、かた<br>つむりくんに頼むかえるくんの様<br>子や気持ちを、想像を広げて読んで<br>いる。<br>(発言・ノート)   |   |     | 0  |   |  |  |
| 6                    |    | がまくんとかえるく<br>んが幸せな気持ちに<br>なった理由や、二人の<br>様子や気持ちを、想像<br>を広げて読むことが<br>できる。   | ・叙述に着目して、二人の気持ちを想像し、<br>心情曲線に表す。<br>・読みとったことを音読で表現する。<br>・お話の中心人物について考える。  | ・がまくんとかえるくんが幸せな気持ちになった理由や,二人の様子や気持ちを、想像を広げて読んでいる。<br>(発言・ノート)                 |   |     | 0  |   |  |  |
| 7<br>本時              |    | 場面の様子について<br>想像したことをもと<br>にして,物語の中心を<br>つかむことができる。                        | ・1年生にお話の内容が伝わるようにする<br>ために、人物の気持ちが大きく変わった<br>物語の中心について話し合う。<br>・なりきって音読するポイントを考える。   | ・場面の様子について想像したことを<br>もとにして、物語の中心をつかんで<br>いる。<br>(発言・ノート)                      |   |     | 0  |   |  |  |
| 8                    | 三  | 人物の様子や気持ち<br>が表れるように音読<br>することができる。                                       | ・音読劇の練習をする。<br>・地の文と会話文を読み分ける。<br>・役割を決めて、音読の工夫について話し<br>合う。   | ・人物の様子や気持ちが表れるように<br>音読している。<br>(発言・行動観察)                                     |   |     | 0  |   |  |  |
| 9                    |    | 人物の様子や気持ち<br>が表れるように音読<br>することができる。                                       | <ul><li>・音読劇の練習をする。</li><li>・読み方の工夫や動きについて意見を伝え合う。</li><li>・声の大きさや動きについて助言し合う。</li></ul>                                       | ・人物の様子や気持ちが表れるように<br>音読している。<br>(発言・行動観察)                                     |   |     | 0  |   |  |  |
| 1 0                  |    | 友達と感想が同じだったり,違ったりしていることに気づいて感想を深めることができる。                                 | ・音読劇を発表する。<br>・自分の表現と比べながら発表を聞く。<br>・音読を聞いた感想を伝え合う。  | ・友達と感想が同じだったり,違った<br>りしていることに気づいて感想を<br>深めている。<br>(発言・ノート)                    |   |     | 0  |   |  |  |
| 11                   |    | ほかの絵本や物語に<br>興味をもち、読むこと<br>ができる。  | <ul><li>「お手紙」を「わらってしまうところがある話」と言ったのはなぜか、自分ならなんというかをわけといっしょに話す。</li><li>「がまくんとかえるくん」はシリーズでほかのお話もあることを確認し、読書への意欲を喚起する。</li></ul> | ・ほかの絵本や物語に興味をもって,<br>お話を読んでいる。<br>(発言・ノート)                                    |   |     | 0  |   |  |  |
| 1 2                  |    | 受け取った人がうれ<br>しい気持ちになる手<br>紙を書き、読み合っ<br>て、感想を互いに伝え<br>合うことができる。            | ・手紙を出したり、もらったりしたときの<br>気持ちについて話し合い、受け取った人<br>がうれしい気持ちになる手紙を書く。<br>・もらった手紙について感想を交流する。  | ・だれに何を書こうかと考え,手紙に<br>ふさわしい形式で書いている。<br>(発言・ワークシート)                            |   | 0   |    |   |  |  |

- 5 本時の学習(第7時)
- (1) ねらい 場面の様子について想像したことをもとにして、物語の中心をつかむことができる。
- (2) 評価規準 読 場面の様子について想像したことをもとにして、物語の中心をつかんでいる。
- (3) 準 備 挿絵, 短冊
- (4)展開

む

 $\widehat{5}$ 

える

10

学び合う

 $\widehat{\overset{}{2}}$  2

#### 過程 学習活動と予想される児童の反応

- 1. P.6 と P.14 の挿絵を見て、お話のはじめと おわりについて想起する。
- はじめは、二人ともかなしそうな顔をしているよ。
- おわりは、しあわせそうな顔をしているね。
- はじめはかたを組んでいないけど、おわりは かたを組んでいて、二人ともうれしそうだね。

**課** お話のクライマックスを見つけて,「ここ **題** いちポイント」を考えよう。

- 2. がまくんの気持ちが大きく変わったきっかけは何かな。
- お手紙をもらえるとわかったからかな。
- 3. ペアで、がまくんの気持ちが大きく変わったきっかけについて話し合う。
- かえるくんがお手紙を書いてくれたと知った ことが、きっかけだと思うな。
- ・お手紙に親友と書いてあったことがきっかけだと思うよ。
- 4. 自分の考えを、全体で共有する。
- ・ぼくは、お手紙がこないと思っていたのに、かえるくんがお手紙を書いてくれたと知ったことがきっかけだと思います。教科書の13ページの3行目を見てください。ぼくは「きみが。」と言ってうれしくなったと思うからです。
- ・わたしは、がまくんの気もちが大きくかわったきっかけは、お手紙のないようを聞いたことだと思います。13ページの8行目から10行目を見てください。「親友」と書いてありますね。わけは、お手紙が来なくて一人ぼっちだと思っていたのに、親友と書いてあってうれしい気もちになったと思うからです。
- 5. お話を一言でまとめる。
- ・お手紙をもらえなくてかなしい気もちのがま くんが、親友と書いてあるお手紙をかえるく んが出してくれたと聞いて、しあわせな気も ちになるお話。
- 6. 本時を振り返り、まとめる。

がまくんが、親友と書いてあるお手紙を もらえると聞いてしあわせな気もちにな ったところを「ここいちポイント」にす る。

7. みんなで決めた「ここいちポイント」を音 読する。

#### 指導上の留意点・ 評価◎ 支援○

- ・挿絵の2人の様子の違いや変化を見比べて, 物語の始めと終わりに着目させる。
- ・1年生に伝わるような音読発表会にするためには、始めと終わりのみの情報ではお話の内容が伝わりにくいということを実感させ、課題意識をもって考えさせる。
- ・児童の発言を手がかりにして、始めと終わ りの内容をまとめる。
- ・お話の中で一番気持ちをこめて音読しなく てはならないところ (クライマックス) が, 「ここいちポイント」であることを伝える。
- ・中心人物の気持ちが大きく変わった所(クライマックス)に着目させる。
- ・物語の展開が想起できない場面には、挿絵や学習掲示を生かす。
- ◎場面の様子について想像したことをもとにして、物語の中心をつかんでいる。

読(発言・ワークシート)

- ○人物の気持ちが大きく変わったところを見つけることが困難な児童には、挿絵の2人の様子の違いを確認し、学習掲示できっかけとなった出来事を確認させ、口述したことをそのまま書き記すよう助言する。
- ・根拠や理由を順序立てて説明ができるよう 三角ロジックや話型などを示し、発表の仕 方を提示する。
- 板書の中のキーワードをもとにして、短い 文章にまとめさせる。
- ・キーワードを提示し、児童の言葉でまとめ
  させる。

# まとめる(8

まとめ

## (5) 筋道を立てて説明するための本時の位置づけ

| 付けたい力          | 教師が求める説明        | 支援             |
|----------------|-----------------|----------------|
| ・場面の様子について想像した | ・わたしは(ぼくは)がまくんの | ・挿絵や叙述,学習の足跡を手 |
| ことをもとに、中心人物の心情 | 気持ちが大きく変わったきっか  | がかりにして、説明できるよ  |
| が大きく変わったところを説  | けは~だと思います。○ページの | う助言する。         |
| 明することができる。     | △行目を見てください。~と書い | ・三角ロジックの掲示物や話型 |
|                | てありますね。なぜかというと, | を提示することで、視覚的な  |
|                | ~してしあわせな気持ちになっ  | ヒントを与え,順序を意識し  |
|                | たと思うからです。       | て説明できるようにする。   |

### (6) 板書計画

